

第14回大橋川景観アドバイザー会議 議事要旨

【日時・場所】

日 時：平成29年7月31日（月）13:30～17:00

場 所：国土交通省松江国道事務所 大会議室

【出席者】

大橋川景観アドバイザー会議委員

足立委員、飯野委員、金坂委員、松本委員、山崎委員、吉田委員、柴田委員

事務局

出雲河川事務所

【議事次第】

開 会

挨拶（出雲河川事務所長）

委員紹介

議 事（座長の互選等、会議規約の改正、護岸素材の選定（施工）について）

現地視察（大橋川現地）

閉 会

【配付資料】

議事次第

席次表

出席者名簿

資料-1 大橋川景観アドバイザー会議規約

資料-2 護岸素材の選定（施工）について

【議事要旨】

<座長の互選、会議規約の改正>

委員の再委嘱により、改めて座長に飯野公央委員、職務代行として吉田薫委員を選出。委員交代に伴う会議規約改正を承認、7月31日より適用となった。

<護岸素材の選定（施工）について>

「大橋川改修に伴う河川構造物等の景観設計指針」（以下、景観指針）で規定している素材2が現在確保できない。また、コスト面から間知石による打込み接ぎ、深目地施工が困難である。

このため、入手可能な地場材（伯太産安山岩）や他工事から発生する島石による施工方法、あるいは、コンクリート二次製品ブロックによる施工方法を事務局より提案し、妥当案について審議いただいた。

（以下委員意見）

- ・景観指針で当初想定していた素材2の大田産の大屋石は、これが大橋川にふさわしいから選んだわけではなくて、一番ふさわしいのは島石であり、島石は量的にもコスト的にも難しいと言うことで、次に石材として何があるか議論して、美術館の前や宍道湖大橋周辺で使用されている大屋石であれば入手しやすいのではないかとすることで大屋石を選んだという経緯がある。それが入手できないのであれば、別の箇所から調達されるのは基本的には良い事だと思う。
- ・伯太産の安山岩は明度が少し明るいですが、素材が石であれば目に見えて経年的に変化して明度が落ちてくる事が想像される。コンクリートを使用する場合は配慮が必要で、それに時間が掛かるので、着色材を入れたり、表面のはつりを入れたりして、最初から自然になじむような工夫が必要である。
- ・今回検討箇所（右岸矢田の渡し予定箇所付近）の上下流の護岸は、下流側が着色粗面ブロック、上流側は環境ブロックを予定しており、その間に黒色の島石が入ると、連続的に見たときの色の変化がきつくなるかもしれないので、安山岩系の方が景観になじむのではないかと。
- ・松江城の石垣を見ても時代と共にいろいろな石が使われている。時代と共に、使われる素材が変わって来た歴史があり、その変化が味のある感じになっているので、同じ石で一連やるよりも、少しずつ変化があったほうが良いと思うので、所々安山岩があっても、島石があっても良い。

- ・ 景観指針で示している素材 2 の素材に求められる質の伝統的な石積の力学美とは、上の石と下の石がしっかりかみ合っている、そういったものが力学美だと思う。資料 1-2 の 5 ページの試験施工の写真（島石巨石積）は、石が宙に浮いたイメージに見え、積み方としてはあまり良くない。下の石と上の石が密着するか、あるいは空間には間詰めをした方がよいが、そのような積み方ができないのならやめた方がよい。
- ・ 巨石積みの目地は、芋目地、通し目地とか 4 点で止まるものではなく 3 点で目地が止まっている様な状態の目地を施工する方が良く見える。目地の幅は均等だと人工的に見えるので、幅は不均一にして変化をもたせ、深目地にすれば違和感のない積み方になると思う。石積本来の工法を上手に組み立てれば、現状の島石を上手に利用して、それなりの姿にできるのではないか。
- ・ 現地視察により、護岸の施工済み箇所、試験施工の状況を見て判断したい。

<現地視察>

（向島、追子、福富地区の施工済護岸等の確認）

- ・ 施工済みの護岸、水門の門柱の仕上げについては、十分景観配慮がなされており、特段の問題なし。

（東津田地区矢田の渡し予定箇所付近、伯太産安山岩及び島石による試験施工の確認）

- ・ 伯太産安山岩の巨石積、割石積、島石による巨石積による試験施工を確認。

<<まとめ>>

- ・ 大橋川景観アドバイザー会議としては、景観指針で示している素材 2 の護岸のうち、当面施工予定である東津田地区矢田の渡し予定箇所付近の施工については、試験施工の状況、施工延長等も考慮し、伯太産安山岩の割石積（奥目地仕上げ）で妥当と判断。
- ・ 今後の左岸側等の景観指針で示している素材 2 の護岸施工にあたっては、他工事で発生する島石を活用した巨石積みも含めて、周辺の景観に配慮した施工範囲や施工方法について検討を行い、大橋川景観アドバイザー会議で審議すること。

以上

◆^{わりいし}割石積

割石を組み合わせて積む方法



写真：伯太安山岩による割石積

割石・・・形を決めずに^{のつら}野面石（自然のままの石）を割ったもの

◆奥目地（深目地）仕上げ

裏コンクリートを石面から1～3cm程度奥で止める工法。



写真：伯太安山岩による奥目地仕上げ

◆^{うちこ}打込み^は接ぎ

石積の積み方で、石と石の接合部に隙間のある積み方。